

隼電気(株) 新社屋



所在地：宮城県仙台市若林区大和町5丁目30-22
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上4階建
 建築面積：124.95㎡
 延床面積：515.12㎡
 施主：隼電気(株)
 設計：(株)建築事務所アーク・アーク
 施工：建築／松井建設(株)
 電気／隼電気(株)
 竣工：平成24年12月

S215

東日本大震災で大きな被害を受けた隼電気(株)が、本社社屋の新築工事を完了。主照明にLED器具を採用し、環境配慮型の事業所として再スタートしました。

被災した本社社屋が再建され、新たな一歩を踏み出した隼電気(株)

1947年に杜の都仙台で創業して以来、一般電気工事を通じて地域の人々の活動をサポートし続けてきた隼電気(株)。現在、官公庁や学校施設、文化施設、福祉施設などから民間の商業施設に至るまで、宮城・仙台を中心に幅広く活躍しています。

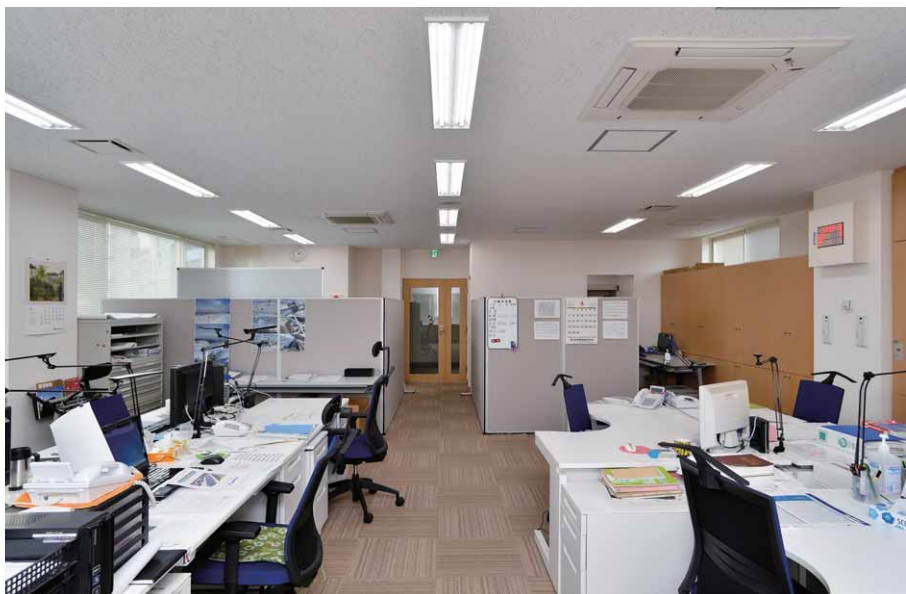
しかしながら、2011年3月の東日本大震災により社屋は損壊。応急的に建てたプレハブ事務所での営業を強いられました。1年9か月経った2012年12月、待望の鉄筋コンクリート4階建て新社屋がついに完成。いよいよ本格的な復活を遂げました。

直管形ベースライト埋込形を中心に電力消費の少ないLED照明を導入

4階建ての新社屋は、1階がテナントとして貸し出され、2～4階が事業所として活用されています。営業、設計、積算の各部門が入る2階フロアと工務課と業務課が入る3階フロアはともに、40形蛍光ランプ2灯用器具とほぼ同等の明るさの直管形LEDベースライト2灯用埋込器具(Cチャンネル回避器具)が3列に配置され、平均照度約530lxのビジネス空間が創出されています。平均消費電力48Wという小さな消費電力は、朝早くから長時間にわたり連続点灯されるオフィス照明として大きな省エネ効果を生み出しています。

大きな窓からの採光も十分な4階社長室内には、スクエアタイプの一体形LEDベースライト埋込形(FHP32形蛍光灯4灯用器具相当、平均消費電力81W)が採用されました。昼白色(相関色温度5000K)の光源のまぶしさを抑える乳白色下面カバーの効果もあり、調度品が醸し出す上質感あふれる雰囲気を生かしつつ華美にならない落ち着いた照明環境が創出されています。

そのほか、LEDライトエンジンダウンライト2000シリーズが取り付けられた社長室前の廊下、LEDユニットフラット形ダウンライトによるトイレ照明、32形蛍光ランプ1灯用器具のエレベーター前照明など、屋内各所に無人時のムダな点灯をなくして省エネ効果を高める人感センサー制御が採用されています。



直管形LEDベースライト埋込形を約2m幅で3列に配置し明るく快適なビジネス環境を実現した2階オフィスフロア



開放感があふれ活動的な雰囲気形成された3階オフィスフロア



清潔感が感じられる4階総務課フロアのLED照明



4階会議室のLED照明



社長室には小形サイズで十分な明るさを確保した埋込穴φ450mmの一体形LEDベースライト埋込形スクエアタイプを採用



社長室前廊下はLEDライトエンジンダウンライトを人感センサーでON/OFF制御

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
屋内	直管形LEDベースライト埋込形	LEDR-42848-LDJ	31	LED 平均消費電力:48W
	一体形LEDベースライト埋込形スクエアタイプ	LEDR-64401W-LDJ	6	LED 平均消費電力:81W
	LEDライトエンジンダウンライト	LEDD-16001-LD9	9	LEDランプ: LEC4/18N-W16GH50
	LEDユニットフラット形ダウンライト	LEDD85010	12	LEDランプ: LDF9N-GX53